

## さくら市議会議員全体研修会報告書

令和元年度さくら市議会議員全体研修会は、令和元年10月9日から10日の2日間にわたり、静岡県熱海市及び河津町、神奈川県海老名市を訪問し先進的な行政事例について視察をしてまいりました。1日目は静岡県熱海市の「リノベーションまちづくりによる地域活性化について」、同日河津町では「河津桜を活かした観光振興と地域活性化について」、2日目は神奈川県海老名市の「食の創造館の管理運営について」を現地において直に視察してまいりました。今回の研修は、執行部の所管職員にも参加を要請し、市長をはじめ総合政策課長、都市整備課長、学校教育課長、商工観光課長補佐が同行いたしました。また、海老名市の「食の創造館」では、学校教育課の課長補佐、総務係長、施設整備係長及び担当1名が同席いたしました。

したがって、参加者は議員18名と執行部から市長及び職員8名、事務局職員2名の合計29名となりました。



【鎌倉市東慶寺】

### 【静岡県熱海市】

10月9日は静岡県熱海市を訪問いたしました。

熱海市は伊豆半島の東側付け根に位置し相模湾に面しています。熱海は隣接する湯河原や箱根地域などと共に、江戸時代から東京の西部近郊の温泉保養地としての地位を確立している、いわずとしれた温泉観光地です。

## 研修内容

熱海市は昭和 39 年の東海道新幹線開業より観光客が大幅に増加し、昭和 44 年には宿泊客が 532 万人に至るまでになりました。その後バブル景気時代（昭和 61 年から平成 4 年）を除き一貫して減り続け、平成 23 年には東日本大震災の影響もあって過去最低の 236 万人にまで落ち込みました。

そんな中、2016 年 7 月に「ATAMI2030 会議」～熱海リノベーションまちづくり構想検討委員会～を発足させ、地域資源（観光、農林水産、遊休不動産など）を今一度見つめ直し、ヒト、モノ、コトが動き出す仕掛けづくりを行いました。さらに、地域ぐるみの創業支援として平成 24 年 10 月から A-biz（熱海市チャレンジ応援センター）を開設し、リノベーションまちづくりと融合した創業支援を行っています。これらの施策の大きなポイントは、行政は従来型の補助金支出は一切行わない、あくまで民間主導・地域主導のプロジェクトである点にあります。

現在では、もとの証券会社を改装した「CAFÉ ROCA」や元のスナックを改装したアトリエ付きシェアハウス「nagisArt」（ナギサート）、ビルが建築され 60 年間使用されていないスペースを改装した「naedoco」（シェアオフィス）などのちょっとおしゃれな空間の演出がなされています。私たちが訪問した平日でも「熱海銀座商店街」には観光客と思われる若い女性が多数来ており、注目の高さが窺われました。

今後のさくら市での地域活性化、商店街再生の一つのヒントになる研修でした。

### 静岡県熱海市



### 【静岡県河津町】

10月9日は静岡県河津町を訪問いたしました。

河津町は伊豆半島の先端部（南端部）に近い東側地域の一角を占め太平洋に面して

います。サクラの一栽培品種であるカワヅザクラ（河津桜）の発祥地でもあり、早春の「河津桜まつり」は全国的にも有名です。

#### 研修内容

今では 100 万人の来場者を誇る「河津桜まつり」も平成 2 年のスタート時は 3,000 人の来場者に過ぎませんでした。その後ボンネットバスを利用したお花見バスなども運行し、誘客に官民挙げての取り組んだ結果、平成 8 年には 10 万人を超えるまでに なりました。

さらに桜まつりを季節の話題として取り上げてもらうべく県内のテレビ放送各社を訪問し働きかけも行いました。その結果テレビ放映の影響で、この桜祭りの知名度は飛躍的に向上し、平成 11 年には 100 万人が訪れるイベントとなりました。以降現在まで 13 回にわたり 100 万人を超える人出で賑わっています。

平成 30 年度に行った経済波及効果調査では、来場者の消費支出額は「買い物・お土産代」18 億 4,200 万円、「飲食費」9 億 1,300 万円となっており、桜まつり期間の経済効果は非常に大きいと思われます。

一方来場者が想像を超えるものとなり、駐車場やトイレ、交通渋滞などの問題も生じています。平成 10 年からは、駐車料金徴収を開始し、大型バス 3,000 円、普通車 500 円（現在では 700 円）を徴収しています。それでも 7,000 台を超える大型バスや 30,000 台を超える普通車には近隣土地の借り上げやパーク＆ライドで対応しています。

トイレは、新たな観光トイレの新設、仮設トイレの増設、施設トイレの開放などで対応しています。

また、地域外から出店する臨時商店も年々増加し、平成 16 年には「河津桜まつり露天営業管理条例」を制定し、条例による規制（届出制）を行っています。これら商店から徴収する賛助会費や駐車場料金でライトアップの財源としています。

さくら市での桜まつり時の参考になる内容でした。

#### 静岡県河津町





## 【神奈川県海老名市】

10月10日は神奈川県海老名市を訪問いたしました。

海老名市は神奈川県の県央地域に位置する市であり、日本の高速道路のサービスエリアでは有数の規模を持つ海老名サービスエリアで有名です。

近年、横浜・東京のベッドタウンとして注目を集め、現在では年間1,000人ほど人口が増加し続けています。

### 研修内容

「食の創造館」は、設計について平成22年度に市が基本・実施設計をプロポーザルにより業者を選定、建設については神奈川県企業庁の「地域振興施設等整備事業」を活用し、平成23・24年度に県（企業庁）に建設してもらい、完成した施設の売買契約を締結取得し20年間での償還という手法がとられています。取得時の補助金等の財源は、県企業庁での工事や他の補助金との併用はできず、国交省の「社会資本整備総合交付金」制度を活用しています。

この施設の特徴としては、災害時の炊き出し機能、幼稚園・高齢者への配食、会議室や調理実習室の一般開放などがあげられます。

課題としては、配送は2つの企業体へ委託しているが交通渋滞に巻き込まれると片道30分程度かかってしまう。今後中学校の完全給食（現在ではミルクだけのミルク給食）や児童生徒数の増加により、「食の創造館」だけでは足りなくなるといった点があげられます。

今後建設予定のさくら市での給食センターの参考になる事業でした。

### 神奈川県海老名市



今回の研修は市長はじめ担当部署の職員が同行しました。議員目線だけではなく事業を直接遂行する職員目線での研修ができたことが大きな収穫でした。問題意識を共有することによってより良い課題解決、市政発展を期待いたします。

以上、ご報告いたします。